


宮監第9号
令和3年8月25日

宮田村長 小田切 康彦 様

宮田村代表監査委員 松井 良 

宮田村監査委員 久保田 秀男 

令和2年度宮田村各会計決算及び各基金の運用状況の審査
並びに健全化判断比率の審査報告について

地方自治法第233条第2項の規定により、令和2年度宮田村各会計歳入歳出決算及び証拠書類、その他政令で定める書類並びに同法第241条第5項の規定により、各基金の運用状況を示す書類並びに地方公共団体の財政の健全化に関する法律第3条第1項の規定により健全化判断比率及びその基礎となる事項を記載した書類について審査した結果、別紙のとおり意見を付して報告します。

令和2年度宮田村各会計決算及び 各基金の運用状況審査報告書

第1 審査の対象

- 1 令和2年度宮田村一般会計歳入歳出決算
- 2 令和2年度宮田村国民健康保険特別会計歳入歳出決算
- 3 令和2年度宮田村介護保険特別会計歳入歳出決算
- 4 令和2年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算
- 5 令和2年度宮田村水道事業会計決算
- 6 令和2年度宮田村下水道事業会計決算
- 7 令和2年度決算付属書類
- 8 令和2年度各基金の運用状況を示す書類

第2 審査の概要

1 審査の期間

令和3年7月27日から

令和3年8月2日まで

2 審査の方法

この審査にあたっては、村長から提出された各会計歳入歳出決算書、歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書、財産に関する調書及び各基金の運用状況を示す書類について、関係法令に準拠して調整されているか、財政運営は健全か、財産の管理は適正か、さらに予算が適正かつ効率的に執行されているか等に主眼をおき、関係諸帳簿を審査し、例月実施している出納検査とも照合したほか、前年度決算審査、定期監査の指摘事項の処理等必要と認めるその他の審査を実施した。

第3 審査の結果

審査に付された各会計の歳入歳出決算書、歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書は法令に準拠して作成されており、決算計数は関係帳簿及び証拠書類と符合しており、誤りのないものと認められた。

また、各基金の運用状況を示す書類の計数についても関係諸帳簿及び証拠書類と符合しており、誤りのないものと認められた。

財産に関する調書では、公有財産・物品・基金等各台帳と預金通帳、有価証券等を照合審査した結果、いずれも適切に管理されていることを認めた。

1 総括

(1) 決算規模

一般会計及び特別会計（水道・下水道事業会計を除く）の決算は、次のとおりである。

○ 一般会計及び特別会計決算規模 (単位：千円)

区 分		一 般 会 計	特 別 会 計	合 計
予 算 現 額		5,755,636	1,764,302	7,519,938
決 算 額	歳 入 額	5,695,903	1,742,070	7,437,973
	歳 出 額	5,298,981	1,677,675	6,976,656
	歳入歳出差引額	396,922	64,395	461,317

一般会計の決算額を前年度と比べると、歳入額は、1,175,337千円(26.0%)の増、歳出額は1,088,505千円(25.9%)の増となっている。令和2年度は特に、新型コロナウイルス対策関連により決算額が大きくなった。

(2) 決算収支

○ 決算収支の推移

(単位：千円)

年度 区分	平成30年度			令和元年度			令和2年度		
	一般	特別	計	一般	特別	計	一般	特別	計
形式収支	222,874	63,470	286,344	310,090	72,536	382,626	396,922	64,395	461,317
実質収支	166,651	63,470	230,121	263,150	72,536	335,686	368,909	64,395	433,304
単年度収支	591	△22,027	△21,436	96,499	9,066	105,565	105,759	△8,141	97,618

総計決算における歳入歳出差引額（形式収支）は、前年度（382,626千円）に引き続き461,317千円の黒字になっている。

実質収支額は433,304千円であり、前年度と比較すると97,618千円(29.1%)の増となっている。この内訳は、一般会計105,759千円、特別会計△8,141千円である。

次に、この実質収支額から前年度実質収支額を控除した単年度収支額をみると、一般会計では前年度96,499千円に対し、本年度は105,759千円、特別会計では前年度9,066千円に対し、本年度は△8,141千円となっている。

(3) 村債の状況

村債の支出額並びに翌年度以降の償還予定額は次表のとおりである。

一般会計

(単位：千円)

区分		年度	償還額(元利金)		対前年度 増減額	2年度末残高
			令和元年度	令和2年度		
村債 償還	総額		361,778	329,373	△32,405	2,989,370
	一般財源充当額		349,676	317,271	△32,405	

2 一般会計

(1) 財政構造

財政構造については、令和2年度決算報告書にしたがって分析的に考察すれば、おおむね次のとおりである。

ア 歳入構成

○ 自主財源と依存財源に区分し、年度別に比較すると次表のとおりである。

(単位：千円・%)

区分	年度	平成30年度		令和元年度		令和2年度	
		決算額	構成比	決算額	構成比	決算額	構成比
自主財源		2,023,785	48.7	2,119,463	46.9	2,160,218	37.9
依存財源		2,131,939	51.3	2,401,103	53.1	3,535,685	62.1
計		4,155,724	100.0	4,520,566	100.0	5,695,903	100.0

自主財源と依存財源の構成割合は、37.9対62.1となっており、自主財源の占める構成比率は前年度と比較すると9.0ポイント下がっている。

○ 経常的収入と臨時的収入に区分し、年度別に比較すると次表のとおりである。

(単位：千円・%)

年度 区分	平成 30 年度		令和元年度		令和 2 年度	
	決算額	構成比	決算額	構成比	決算額	構成比
経常的収入	3,282,799	79.0	3,311,658	73.2	3,367,537	59.1
臨時的収入	872,925	21.0	1,208,908	26.8	2,328,366	40.9
計	4,155,724	100.0	4,520,566	100.0	5,695,903	100.0

経常的収入と臨時的収入の構成割合は、59.1 対 40.9 となっており、経常的収入の占める構成比率は前年度と比較すると 14.1 ポイント下がっている。

令和 2 年度は、新型コロナウイルス対策関連の国庫支出金等増による依存財源、臨時的収入の構成比が大きくなった。

イ 歳出構成

歳出決算額を性質別に区分し、前年度と比較すると次表のとおりである。

○ 一般会計性質別歳出決算額調

(単位：千円・%)

区分	年度	令和元年度		令和2年度		対前年度比	
		決算額	構成比	決算額	構成比	増減額	増減比
義務的経費	人件費	754,249	17.9	955,396	18.0	201,147	26.7
	扶助費	552,495	13.1	497,558	9.4	△54,937	△9.9
	公債費	361,778	8.6	329,373	6.2	△32,405	△9.0
	小計	1,668,522	39.6	1,782,327	33.6	113,805	6.8
經常的経費	物件費	753,265	17.9	547,763	10.3	△205,502	△27.3
	維持補修費	40,798	1.0	60,409	1.1	19,611	48.1
	補助費等	509,219	12.1	1,646,570	31.1	1,137,351	223.4
	小計	1,303,282	31.0	2,254,742	42.6	951,460	73.0
投資的経費	普通建設事業費	437,105	10.4	314,898	5.9	△122,207	△28.0
	補助	308,722	7.3	198,469	3.7	△110,253	△35.7
	単独	128,383	3.0	116,429	2.2	△11,954	△9.3
	災害復旧事業費	310	0.0	1,056	0.1	746	240.6
	小計	437,415	10.4	315,954	6.0	△121,461	△27.8
その他経費	積立金	215,858	5.1	362,795	6.8	146,937	68.1
	繰出金	281,889	6.7	289,853	5.5	7,964	2.8
	出資金・貸付金	303,510	7.2	293,310	5.5	△10,200	△3.4
	小計	801,257	19.0	945,958	17.9	144,701	18.1
合計	4,210,476	100.0	5,298,981	100.0	1,088,505	25.9	
一般財源充当額	2,816,657		2,894,498		77,841		

義務的経費と投資的経費等

義務的経費 1,782,327 千円は、前年度に比べて 113,805 千円 (6.8%) の増となっており、歳出総額に占める割合は 33.6% で前年度よりも 6.0 ポイント下がっている。

經常的経費 2,254,742 千円は、前年度に比べて 951,460 千円 (73.0%) の増とな

っており、総額に占める割合は42.6%で前年度よりも11.6ポイント上がっている。これも新型コロナウイルス対策関連の補助費等の増が影響している。

投資的経費 315,954千円は、前年度に比べ△121,461千円(△27.8%)の減となっている。

その他経費 945,958千円は、前年度に比べて144,701千円(18.1%)の増となっている。

(2) 財政構造の弾力性

健全な財政運営の要件は、収支の均衡を保持しながら経済変動や住民要望に対応しうる弾力性をもつものでなければならない。一般会計における財政力の動向、財政構造の弾力性を判断する主要財務比率の年度別推移は、次表のとおりである。

○ 財政構造指数

区分 年度	財政力指数	経常収支比率	経常一般財源 比 率	公債費比率	実質公債費 比 率
平成26年度	0.50	81.1	101.1	12.0	14.8
平成27年度	0.51	80.5	101.5	11.0	14.5
平成28年度	0.52	80.4	100.1	10.7	13.9
平成29年度	0.51	81.3	102.0	10.3	13.3
平成30年度	0.51	81.1	101.0	9.8	12.7
令和元年度	0.52	84.1	104.7	8.6	12.4
令和2年度	0.51	77.5	103.8	6.2	10.8

ア 財政力指数

財政力を判断する指標として用いられ、この指数が1に近く、あるいは1を超えるほど財源に余裕があるとされている。本年度は0.51で前年度から0.01ポイント下がっている。

イ 経常収支比率

財政構造の弾力性を判断する指標として用いられ、通常70%程度におさまることが妥当と考えられており、数値が高いほど財政が硬直化していることになる。本年度は77.5%で前年度に比べ6.6ポイント下がっている。

ウ 経常一般財源比率

歳入構造の弾力性の見方として、経常的に収入される税等の一般財源の額と標準的な行政活動に要する経常収入(標準財政規模)との割合を比較する方法で100を超える度合いが高ければ高いほど、経常一般財源に余裕があるとされてい

る。本年度は 103.8%で前年度に比べ、0.9 ポイント下がっている。

エ 公債費比率

本年度の公債費比率は 6.2%で前年度に比べ 2.4 ポイント下がっている。

オ 実質公債費比率

本年度の実質公債費比率は 10.8%で前年度に比べ 1.6 ポイント下がった。

カ 人件費関係指標

年度	単 位	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	備 考
総人件費	千 円	975,563	1,041,254	1,025,823	特別職・一般職・会計 年度任用職員すべて
人件費比率	%	24.8	25.0	19.4	
正規職員数	人	96(89)	97(90)	97(90)	職員数（一般会計分）
会計年度任用 職員数	人	135	145	206	R2 より制度化

*令和 2 年度より、これまでの臨時・パート職員が会計年度任用職員として制度化された。

今後も人口減少、少子高齢化や公共施設の更新問題など、村政を取り巻く状況の変化を的確にとらえながら、限られた財源の効率的で効果的な施策の実施や予算の執行に努められ、更に健全な財政運営と村政の発展に努められたい。

(3) 基金の運用状況

基金については、積立金は公共施設整備基金に 150,000,000 円、新型コロナウイルス感染症対策商工業振興基金を新設し 10,000,000 円ほか、下記表のとおり総額 222,794,531 円増の 1,961,743,748 円となっている。

○ 基金の状況

(単位：円)

基金名	令和元年度末 現在高	年度中 増加額	年度中 減少額	令和 2 年度末 現在高
財政調整基金	1,241,980,103	1,731,033	0	1,243,711,136
減債基金	1,290,141	1,608	0	1,291,749
地域振興基金	194,822,382	56,530,277	0	251,352,659
公共施設整備基金	156,731,591	150,195,713	0	306,927,304
地域福祉基金	121,782,000	0	0	121,782,000
高度情報化基金	21,599,000	2,933,000	0	24,532,000
森林環境譲与税基金	744,000	1,402,900	0	2,146,900
新型コロナウイルス感染症対策商 工業振興基金	0	10,000,000	0	10,000,000
合 計	1,738,949,217	222,794,531	0	1,961,743,748

(4) 予算の執行状況

歳入決算額は、歳入予算額に対し 59,733,176 円の減となり、収入率は約 99.0% (前年度 99.5%) となっている。また、調定額 5,699,708,226 円に対する収入率は 99.9% (前年度 99.9%) であった。本年度の収入未済額は 3,705,002 円で前年度に比べて 832,193 円の増となった。未収額の内訳は、村税が 3,137,582 円 (84.7%)、児童福祉費負担金 58,520 円 (1.6%)、住宅使用料 508,900 円 (13.7%) となっている。

一方、歳出決算額は、歳出予算額に対し、92.1%の執行率で前年度 (92.6%) を 0.5 ポイント下回っている。翌年度への繰越事業費は 104,848,000 円である。

不用額の総額は 351,807,312 円で、前年度より 174,330,271 円の増となっている。予備費を差し引くと実質 181,339,312 円である。(前年度 143,524,041 円)

職員の節約意識や効率化と経費節減が進められる一方で、新型コロナウイルス対策による事業自粛や縮小などの影響もあったが、事業及び予算執行は適切に行われたことを認めた。

今後、公共施設の更新など計画的に遂行する中で、引き続き経費節減、事務事業の見直し、更にメリハリのある施策を講じるなど、住民の理解を十分に得る中で行財政運営を執行され、健全財政の堅持に努められたい。

予算の執行状況については概ね良好であった。特筆にあたる点、留意すべき点及び検討を要する事項は、次のとおりであるので検討のうえ善処されたい。

① 村税・負担金及び使用料等の滞納額減少対策について

税の収納率は昨年同の 99.7% であった。昨年に続き郡下トップ、県下でも 1 位 (調定額 10 億円以上の 40 市町村中) の数字である。

別紙 (P15) のとおり令和 2 年度末の総滞納額 (収入未済額) は 10,612 千円で、不納欠損を差し引くと 1,015 千円の増である。新型コロナウイルスの影響による徴収猶予や収入減による滞納が理由としてあるが、以前より高い収納率を維持していることは高く評価できる。

また、近隣市町村に比べても滞納率 (0.52%)、及び不納欠損率 (0.03%) は非常に低く推移しており、職員及び収納専門職員の努力がうかがわれる。今後も継続して、受益と負担の公平性の確保と安定的な自主財源の確保に尽力願いたい。

② 工事等関係書類について

工事等関係書類についてはここ数年の指摘事項の改善が図られ、概ね整理がされていた。引き続き財務規則等に基づき適正に執行されるよう配慮されたい。

なお、一部に次の事案が見受けられたので業務手続の検討を図られたい。

- ・設計・契約段階の甘さ (経験不足) により変更契約がされている工事があった。予算内での修繕にこだわり過ぎると必要な修繕ができないことも考えら

- れる。今後村内の各施設で大規模な修繕が発生すると思うが、村の施設全体の設計・契約等について、目を通す部署（係）の設置を検討されたい。
- ・設計委託のない修繕工事の入札で、見積額に大きな差があるものがあった。設計が適切にされているか疑問も持ちながら、専門家の意見も聞きつつ業務手続きを進められたい。

③ 事業執行について

事業執行にあたり感じたことを列記する。

- ・村所有のウッドチップターの貸し出しについては需要が少ないようだが、有効に活用されるよう運用を検討されたい。
- ・移住定住促進について、空き家・村営住宅が不足しているとのことだった。民間物件の活用ができないか検討されたい。
- ・定住促進事業では、移住者増に貢献ができています。成果は蓄積でありすぐに成果が見えず難しいが、未来を見越し、なお精力的に取り組まれます。

④ 指摘事項の対応について

前年度決算審査、及び定期監査で指摘した事項については概ね改善されていた。

⑤ 外郭団体について

現在 21 の団体がある。(P16) 村からの補助金支払額は、総額 37,584,877 円（前年比 98.43%）で、年度末会計残高は 19,168,170 円で、会計処理、預貯金の管理については、各担当課で適正に管理されていることを認めた。

新型コロナウイルス感染症対策により予定の事業が実施できず、繰越残高が高額になっている団体が見られる。コロナ禍で従来の事業ができない状況ではあるが、残高が膨らまないように危機感を持ち、予算をどう割り振っていくのか、活動状況や事業内容を把握し、有効な活用を検討されたい。

(5) 財産管理の状況

財産管理については適正に管理されていた。

ただし、宮田村土地開発公社から買い戻している土地については以前から指摘しているが、使用目的を明確にする必要があると考える。

(6) 各施設の管理状況

各施設の管理状況については概ね良好であったが、全体的に老朽化が進んでいるため、計画的に修繕改修に着手し、大事に至らないよう配慮願いたい。あわせて、事故防止のための細やかな点検も引き続き実施されたい。

(7) 現地調査の結果

以下の工事について現地調査を行った結果、概ね適正に処理されていた。

- ・令和元年度繰越南割区消防車庫建設工事
- ・中川橋床板等補修工事
- ・農地耕作条件改善事業駒ヶ原2地区(3工区)水路工事
- ・子育て支援センターウッドデッキ設置工事
- ・こうめ保育園テラス柵設置工事

なお、調査にあたり気が付いた点は、以下のとおりである。

- ・今後の消防車庫の建設工事にあたっては、消防団が必要とする備品を置く柵などは、地震などで転倒の危険があるため、設計に盛り込み作り付けにできないか検討されたい。
- ・農地耕作条件改善事業駒ヶ原2地区(3工区)水路工事について、放流の際は、下流に人がいる心配もあるので警報による周知、また付近の水路に柵や蓋がないため、草刈り時や通行者などへの安全対策を今後検討されたい。

3 国民健康保険特別会計

歳入決算額 718,929,563 円、歳出決算額 704,506,602 円、差引額 14,422,961 円となった。

歳入予算額に対する収入率は 97.2% (前年度 96.2%) で前年を 1.0 ポイント上回っている。また調定額 721,062,104 円に対する収入率は 99.7% (前年度 99.8%) で前年同様であった。収入未済額 1,848,841 円は前年度に比べ 155,841 円増で、全額が国民健康保険税である。

保険税は、現年度分の収納率が 99.3% (前年度 99.6%) で前年度を 0.3 ポイント下回っている。また、過年度分の収納率は 39.7% (前年度 40.4%) で、0.7 ポイント前年度を下回っている。保険税の現年度分収入未済額は 1,109 千円で、滞納繰越分を含めた収入未済額は令和2年度末 1,849 千円、令和元年度末 1,693 千円で前年度より 156 千円増加している。不納欠損額は 283 千円 (前年 0 千円) であった。厳しい経済状況下において徴収努力がなされているが、目的税の観点と税の公平・公正と国保財政の健全化のために収納率の向上に特段の配慮をされたい。

歳出決算額は、歳出予算額に対し 95.2% の執行率で前年度 (93.0%) を 2.2 ポイント上回っている。

不用額は 35,418,398 円で前年度より 19,661,291 円減となっている。予算管理を適正に行った結果であり評価するが、更に精査されたい。

保険給付費は 479,894,406 円で前年度より 8,469,543 円減となっている。常に推移を慎重に見極め、適切な判断をするように心がけて、今後の運営には十分留意され、より一層の保健事業の推進を図られたい。

予算執行は、適切に行われていたことを認めた。

4 介護保険特別会計

歳入決算額 913,654,433 円、歳出決算額 865,961,785 円、差引額 47,692,648 円となった。

歳入予算額に対する収入率は 99.9%（前年度 97.9%）となっており、また、調定額 914,623,722 円に対する収入率は 99.9%（前年 99.9%）であった。

保険料は、現年度分の収納率が 99.9%（前年度 99.8%）で前年度を 0.1 ポイント上回っている。また、過年度分の収納率は 16.4%（前年度 22.4%）で、前年度を 6.0 ポイント下回っている。保険税の現年度分収入未済額は 139 千円で、滞納繰越分を含めた収入未済額は令和 2 年度末 901 千円、令和元年度末 1,000 千円で前年度より 99 千円減少している。不納欠損額は 69 千円（前年 27 千円）であった。

歳出では予算額に対し、94.6%の執行率で前年度（92.6%）を 2.0 ポイント上回っている。介護給付費の状況を分析し、今後の運営には十分留意され健全運営に努められ、より一層の保健事業の推進をはかられたい。

予算執行は、適切に行われていたことを認めた。

5 後期高齢者医療特別会計

歳入決算額 109,486,015 円、歳出決算額 107,206,358 円、差引額 2,279,657 円となった。

歳入予算額に対する収入率は 100.3%（前年度 100.9%）、調定額 109,486,015 円に対する収入率は 100.0%（前年度 99.9%）であった。収入未済額は 0 円（前年度 0 円）であった。不納欠損額は 0 千円（前年 12 千円）であった。

歳出予算額に対する執行率は 98.2%（前年度 98.8%）であった。

予算執行は、適切に行われていたことを認めた。

6 下水道事業会計

収益的収支は、収入額 349,199,126 円、支出額 456,194,656 円で、当年度純損失は 114,877,901 円となり、前年度繰越欠損金 1,517,145,528 円を加え、当年度未処理欠損金として 1,632,023,429 円を翌年度に繰り越した。

当年度の有収水量は 803,963m³ で、前年度を 3.1%（前年度は 1.1%減）上回った。

下水道使用料は 155,099 千円で、前年度に比べて 3,273 千円増で 2.2%（前年度は 0.9%減）上回っている。

資本的収支は、収入額 320,547,200 円、支出額 337,317,587 円であった。

予算執行は、適切に行われていたことを認めた。

○下水道事業会計の起債の状況は次表のとおりである。

(単位：千円)

区分		年度		償 還 額		対前年度 増 減 額	令和2年度末 残 高
		令和元年度	令和2年度				
企業債償還	総 額	157,591	148,308	△9,283	678,236		

7 水道事業会計

収益的収支は、収入額 163,842,320 円、支出額 129,145,364 円で、当年度純利益は 32,393,638 円となり、前年度繰越利益剰余金 254,605,254 円を加算し、当年度末処分利益剰余金は 286,998,892 円となり、本年度は特段の処分をせず、そのまま翌年度繰越利益剰余金として翌年度に繰り越した。

当年度の有収水量は 855,376m³ で、前年度を 3.6%(前年度は 0.9%減)上回った。

給水収益は 137,788 千円で、前年度に比べて 4,625 千円、3.5%上回っている。

資本的収支は、収入額 6,523,289 円、支出額 69,146,457 円となっており、差引不足額 62,623,168 円は、過年度分損益勘定留保資金、当年度消費税資本的収支調整額で補てんした。

予算執行は、適切に行われていたことを認めた。

○水道事業会計の起債の状況は次表のとおりである。

(単位：千円)

区分		年度		償 還 額		対前年度 増 減 額	令和2年度末 残 高
		令和元年度	令和2年度				
企業債償還	総 額	39,436	40,626	1,190	257,627		

令和2年度宮田村一般会計・水道事業会計・下水道事業会計
財政健全化及び経営健全化審査

第1 審査の概要

1 審査の対象

令和2年度宮田村一般会計健全化判断比率

令和2年度宮田村水道事業会計資金不足比率

令和2年度宮田村下水道事業会計資金不足比率

上記の各健全化判断比率及びその算定の基礎となる事項を記載した書類

2 審査の日時

令和3年7月27日

3 審査の方法

この審査にあたっては、村長から提出された健全化判断比率及びその算定の基礎となる事項を記載した書類が適正に作成されているかどうか主眼として実施した。

第2 審査の結果

いずれも適正に作成されているものと認められた。

1 一般会計

○健全化判断比率の状況

(単位：%)

	宮田村の指数		健全化判断比率	
	令和元年度	令和2年度	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	—	—	15.00	20.00
連結実質赤字比率	—	—	20.00	30.00
実質公債費比率	12.4	10.8	25.0	35.0
将来負担比率	—	—	350.0	

※ 『—』は実質赤字、連結実質赤字がない。

※ 健全化判断比率のうち1つでも早期健全化基準以上の場合には、財政状況の悪化した要因の分析を踏まえ、実質赤字を解消することや、他の指標を早期健全化基準未満とすることを目標として財政健全化計画を策定し、県知事に報告をしなければならないとされている。

※ 健全化判断比率のうち1つでも財政再生基準以上の場合には、財政の状況が著しく悪化した要因の分析を踏まえ、実質赤字を解消することや、他の指標を早期健全化基準未満とすることを目標として財政再生計画を策定し、総務大臣へ報告し、

同意を得た上で財政再生計画に基づいて予算を調整しなければならないこととされている。

(1) 実質赤字比率

一般会計を対象とした実質赤字の標準財政規模 2,888,661 千円に対する比率で、令和 2 年度の実質収支額は、368,909 千円であり、赤字となっていない。

(2) 実質公債費比率

令和 2 年度の実質公債費比率は 10.8%となっており、前年度を 1.6 ポイント下回り改善が図られている。早期健全化基準 25%と比較するとこれを下回り、改善が進んでいる。今後も引き続き改善に向けた努力を継続されたい。

(3) 将来負担比率

一般会計が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率であるが、令和 2 年度の将来負担比率は△9.8%となっており、大幅に改善された。早期健全化基準の 350%以下であることを勘案すると健全な状態であると言える。

将来負担比率は、今後予想される公共施設更新も見据え、将来の財政運営を展望する指標として、継続的な留意が必要と思われる。

(将来負担比率)

平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
43.6	25.5	13.8	—	—	—

2 水道事業会計

(1) 令和 2 年度の水道事業会計の資金不足比率

(流動負債－流動資産) / (営業収益－受託工事収益) は、△88.9% (前年度△78.1%) であり、資金不足となっていない。

3 下水道事業会計

(1) 令和 2 年度の下水道事業会計の資金不足比率

(流動負債－流動資産) / (営業収益－受託工事収益) は、△221.8% (前年度△215.0%) であり、資金不足となっていない。

※ 公営企業会計で資金不足比率が 20%以上となった場合には、経営状況が悪化した要因の分析を踏まえて、資金不足比率を経営健全化基準未満とすることを目標として経営健全化計画を策定し、県知事へ報告しなければならないとされている。

令和2年度末の税等滞納額状況

R3.7.27 作成
[単位:千円]

税・料金	A	B	A+B(C)	D	E	C-D-E	
	R2調定額 滞納繰越額	R2調定額現 年分	調定額 合計	収入額	不納 欠損額	収入 未済額	滞納率 現年度分
村民税(個人)	870	464,409	465,279	464,443	0	836	0.18%
村民税(法人)	0	63,729	63,729	63,729	0	0	0.00%
固定資産税	1,541	596,248	597,789	595,440	75	2,274	0.38%
軽自動車税	52	33,909	33,961	33,908	26	27	0.08%
たばこ税	0	38,254	38,254	38,254	0	0	0.00%
入湯税	0	2,167	2,167	2,167	0	0	0.00%
小 計	2,463	1,198,716	1,201,179	1,197,941	101	3,137	0.26%
国民健康保険	1,697	157,149	158,846	156,714	283	1,849	1.18%
介護保険	994	180,956	181,950	180,981	69	901	0.50%
下水料	2,720	170,609	173,329	170,964	42	2,323	1.36%
水道料	1,996	151,566	153,562	151,695	33	1,834	1.21%
住宅家賃	6	27,454	27,460	26,951	0	509	1.85%
体育施設使用料	0	166	166	166	0	0	0.00%
保育料	249	20,777	21,026	20,967	0	59	0.28%
後期高齢者医療	0	88,588	88,588	88,588	0	0	0.00%
給食費(小)家庭	0	24,911	24,911	24,911	0	0	0.00%
“ 教職員	0	2,735	2,735	2,735	0	0	0.00%
給食費(中)家庭	0	15,132	15,132	15,132	0	0	0.00%
“ 教職員	0	2,137	2,137	2,137	0	0	0.00%
合 計	10,125	2,040,896	2,051,021	2,039,882	528	10,612	0.52%

※滞納繰越額 10,125千円－滞納額10,612千円－不納欠損528千円＝ -1,015千円(実質減少額)

滞納額の推移

科 目	H27年度末	H28年度末	H29年度末	H30年度末	R元年度末	R2年度末	前年比
村民税(個人)	2,360	1,380	1,138	1,551	894	836	94%
村民税(法人)	385	87	100	0	0	0	0%
固定資産税	5,707	4,651	5,211	2,703	1,508	2,274	151%
軽自動車税	91	117	14	△ 1	32	27	84%
たばこ税	0	0	0	0	0	0	0%
入湯税	0	0	0	1,919	0	0	0%
小 計	8,543	6,235	6,463	6,172	2,434	3,137	129%
国民健康保険	8,619	4,076	1,733	1,783	1,693	1,849	109%
介護保険	1,881	1,324	1,194	891	1,000	901	90%
下水料	2,688	2,448	2,342	2,750	2,720	2,323	85%
水道料	2,006	1,965	1,887	2,075	1,996	1,834	92%
住宅家賃	911	510	234	227	190	509	268%
体育施設使用料	1	0	0	0	0	0	0%
保育料	133	184	363	336	249	59	24%
保育園給食主食費	31	0	3	0	0	-	0%
後期高齢者医療	8	20	417	28	28	0	0%
給食費(小)	0	0	0	0	0	0	0%
給食費(中)	0	0	63	0	0	0	0%
合 計	24,821	16,762	14,699	14,262	10,282	10,612	
前年対比	75%	52%	88%	97%	72%	103%	

外郭団体等に関する会計調査

作成 令和3年7月 単位=円

NO	団体名	村からの補助金	令和2年度会計			決算書 (有・無)	担当課	役割
			歳入額	歳出額	繰越残高			
1	宮田村農業農村支援センター	1,200,000	33,172,197	29,211,542	3,960,655	有	産業振興推進室	事務局
2	宮田村農地・水・環境保全管理協定(共同)	11,363,092	13,837,925	11,170,728	2,667,197	有	産業振興推進室	事務局
3	宮田村農地・水・環境保全管理協定(向上)	8,104,704	9,715,136	8,008,000	1,707,136	有	産業振興推進室	事務局
4	中山間地域農業直接支払事業	5,401,137	5,401,137	3,300,000	2,101,137	有	産業振興推進室	事務局
5	宮田村山ぶどうの里づくり推進会議	150,000	621,653	460,825	160,828	有	産業振興推進室	事務局
6	宮田村農業者年金協議会	63,000	331,972	11,480	320,492	有	産業振興推進室	JAで会計
7	宮田村農業者クラブ	15,000	151,160	64,913	86,247	有	産業振興推進室	県農業農村支援センター
8	宮田村壮年連盟	50,000	2,252,681	1,335,224	917,457	有	産業振興推進室	JAで会計
9	宮田村水田農業経営研究会	45,000	81,433	36,972	44,461	有	産業振興推進室	JAで会計
10	宮田村認定農業者協議会	90,000	398,678	16,000	382,678	有	産業振興推進室	事務局
11	宮田村学校給食を育てる会	20,000	246,774	85,666	161,108	有	産業振興推進室	会で会計
12	宮田村有害鳥獣駆除推進協議会	890,000	1,775,511	1,767,566	7,945	有	産業振興推進室・建設課	事務局
14	宮田村観光協会	4,000,000	6,368,222	3,775,857	2,592,365	有	産業振興推進室	事務局・会計
15	宮田村勤労者互助会	100,000	3,781,332	1,972,120	1,809,212	有	産業振興推進室	事務局・会計
16	宮田村青少年健全育成協議会	457,000	913,836	504,980	408,856	有	学校教育係	事務局
17	小学校給食会計	3,158,144	31,231,461	31,164,928	66,533	有	教育委員会	学校で会計
18	中学校給食費補助	1,771,700	19,355,941	19,355,931	10	有	教育委員会	学校で会計
19	高齢者クラブ(6地区)	356,100	1,984,510	627,078	1,357,432	有	福祉課	交付のみ
20	上伊那保護司会南部分区	200,000	946,426	530,005	416,421	有	福祉課	交付のみ
21	宮田村保健補導員地区組織	150,000	150,000	150,000	-	活動報告書有	福祉課	事務局
	合計	37,584,877	132,717,985	113,549,815	19,168,170			

令和2年度宮田村国民健康保険特別会計決算書 総括表

(単位：千円)

歳入額			対前年度決算		勘定科目	対前年度決算		歳出額		
30年度	元年度	2年度	増減	比率		増減	比率	2年度	元年度	30年度
155,960	164,788	156,714	△ 8,074	95.1%	国民健康保険税					
41	40	40	0	100.0%	使用料及び手数料					
0	428	1,912	1,484	446.7%	国庫支出金					
540,613	496,295	487,244	△ 9,051	98.2%	県支出金					
52	91	130	39	142.9%	財産収入					
40,243	42,394	43,202	808	101.9%	一般会計繰入金					
0	0	0	0	—	基金繰入金					
80,524	49,720	24,678	△ 25,042	49.6%	繰越金					
12,066	6,843	5,010	△ 1,833	73.2%	諸収入					
					総務費	470	110.4%	4,996	4,526	4,368
					保険給付費	△ 8,469	98.3%	479,895	488,364	532,510
					国民健康保険事業納付金	△ 9,159	95.4%	190,884	200,043	189,990
					財政安定化基金拠出金	0	—	0	0	0
					保健事業費	△ 2,323	78.1%	8,264	10,587	10,887
					基金積立金	△ 19,961	33.7%	10,130	30,091	30,052
					公債費	0	—	0	0	0
					諸支出金	8,029	447.7%	10,338	2,309	11,972
					予備費	0	—	0	0	0
					前年度繰上充用金	0	—	0	0	0
829,499	760,599	718,930	△ 41,669	94.5%	計	△ 31,413	95.7%	704,507	735,920	779,779
					次年度繰越金	△ 10,256	58.4%	14,423	24,679	49,720
					不納欠損額	283	皆増	283	0	109
					収入未済額	156	109.2%	1,849	1,693	1,783

(参考数値)	30年度	元年度	2年度	対前年度増減・比率	
●年間平均被保険者数(人)	1,747	1,683	1,642	△ 41	97.6%
●年間平均加入世帯数(世帯)	1,064	1,052	1,037	△ 15	98.6%
●年度末被保険者加入率(%)	19.0%	18.3%	18.1%	△ 0.2	98.9%
●現年課税分					
1人当たり保険税調定額(円)	89,320	97,812	95,706	△ 2,106	97.8%
1世帯当たり保険税調定額(円)	146,656	156,481	151,542	△ 4,939	96.8%
保険税収納率(%)	99.2%	99.6%	99.3%	△ 0.3	99.7%
●国保支払準備基金残高(千円)	56,558	86,649	96,779	10,130	111.7%
●1人当たり医療費(円)	362,450	339,290	344,123	4,833	101.4%
			(見込額)		

備考	<p>*平成30年度…国民健康保険制度改革 都道府県が財政運営の主体となる 県は、国からの支援と市町村からの事業納付金により財源を確保し、保険給付費等を負担 市町村の事業納付金には被保険者の保険税を充てる 国保税算定方式(資産割を廃止した3方式)及びあん分率改正、軽減判定所得・賦課限度額見直し</p> <p>*令和元年度…国保税あん分率改正、軽減判定所得・賦課限度額見直し</p> <p>*令和2年度…国保税平等割・均等割の軽減判定所得の見直し、賦課限度額の見直し 新型コロナウイルス感染症対策としての保険税減免及び傷病手当金の創設</p>
----	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

令和2年度宮田村介護保険特別会計決算書 総括表

(単位：千円)

歳入額				勘定科目	歳出額			
30年度	R1年度	R 2年度	(前年比%)		R 2年度	(前年比%)	R1年度	30年度
185,339	181,953	180,981	99.5%	介護保険料				
23	14	7	50.0%	使用料及び手数料				
199,408	220,653	224,543	101.8%	国庫支出金				
206,448	198,964	212,167	106.6%	支払基金交付金				
113,653	108,667	113,764	104.7%	県支出金				
31	27	24	88.9%	財産収入				
118,529	118,327	132,355	111.9%	繰入金				
3,837	11,324	45,686	403.4%	繰越金				
0	0	0	-	村債				
3,229	3,417	4,128	120.8%	諸収入				
				総務費	17,380	118.8%	14,629	12,686
				保険給付費	775,021	106.1%	730,675	749,157
				地域支援事業	47,372	102.9%	46,038	45,374
				基金積立金	24	88.9%	27	31
				公債費	0	-	0	0
				償還利子及び割引料	89	31.3%	284	45
				諸支出金	26,076	434.1%	6,007	11,880
				予備費	0	-	0	0
830,497	843,346	913,655	108.3%	合 計	865,962	108.6%	797,660	819,173
				次年度繰越金	47,693	104.4%	45,686	11,324
				不納欠損額	69	255.6%	27	457
				年度未収入未済額	901	90.1%	1,000	1,194
				(参考数値)	R 2年度	(前年比%)	R1年度	30年度
				第1号被保険者数(年度末 人)	2,623	100.7%	2,604	2,597
				認定者数(年平均・人)	362	104.9%	345	344
				認定率(%)	13.8%	1.0%	13.2	13.2
				認定者1人当りの給付費(千円)	2,141	101.7%	2,106	2,178
				現年保険税収納率(%)	99.9	100.1%	99.8	99.7
				支払準備基金残高(千円)	15,774	100.2%	15,750	15,723
					(見込額)			
備 考	*平成30～令和2年度…第7期介護保険事業計画							

令和2年度宮田村後期高齢者医療特別会計決算書 総括表

(単位：千円)

歳入額			対前年度決算		勘定科目	対前年度決算		歳出額		
30年度	元年度	2年度	増減	比率		増減	比率	2年度	元年度	30年度
81,469	84,630	88,588	3,958	104.7%	後期高齢者医療保険料					
9	8	5	△3	62.5%	使用料及び手数料					
19,036	18,469	18,722	253	101.4%	繰入金					
1,135	2,426	2,171	△255	89.5%	繰越金					
9	27	0	△27	皆減	諸収入					
					総務費	△54	75.1%	163	217	200
					後期高齢者医療広域連合納付金	3,871	103.8%	107,043	103,172	99,023
					諸支出金	0	—	0	0	9
101,658	105,560	109,486	3,926	103.7%	計	3,817	103.7%	107,206	103,389	99,232
					次年度繰越金	109	105.0%	2,280	2,171	2,426
					不納欠損額	△11	皆減	0	11	0
					収入未済額	0	—	0	0	28

(参考数値)	30年度	元年度	2年度	対前年度増減・比率	
●年間平均被保険者数(人)	1,361	1,391	1,409	18	101.3%
●軽減対象者数(被保険者分)					
7割軽減	418	439	450	11	102.5%
5割軽減	200	229	221	△8	96.5%
2割軽減	156	186	194	8	104.3%
●軽減対象者数(被扶養者分)					
5割軽減	98	7	10	3	142.9%
●現年度分					
1人当たり保険料調定額(円)	59,487	60,829	62,873	2,044	103.4%
保険料収納率(%)	100.0	100.0	100.0	0	100.0%
●1人当たり医療費(円)	831,187	757,276	766,190	8,914	101.2%

備 考	*平成28/29年度…均等割額40,907円、所得割率8.30% *平成30/元年度…均等割額40,907円、所得割率8.30% *令和2/3年度…均等割額40,907円、所得割率8.43% *令和2年度…新型コロナウイルス対策としての保険料減免及び傷病手当金の創設
-----	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------